

関西医科専門学校 理学療法学科 2025年度 前期 講義要領

科目名	科目区分	対象学年	講義形式	授業時数	単位数
運動学Ⅱ	専門基礎科目	Ⅱ部2年	講義	30	1
担当教員	実務経験				
辻 宏文	急性期病棟・維持期病棟・整形外科クリニックにて8年間従事。				
講義概要					
基本動作のメカニズム(関節運動および筋活動、力学的解釈、その他応用等)を学習する。 運動学習および運動学習理論、練習技法等について学習する。					
講義目標					
【一般目標】	基本動作、特に歩行動作のメカニズムや生体力学について理解する。 運動や障害を評価するために必要な動作における運動力学的知識を理解する。 運動学習および運動学習理論、練習技法について理解する。				
【行動目標】	基本動作のメカニズムや生体力学について、運動学的・運動力学的に列挙および説明できる。 運動学習および運動学習理論、練習技法について列挙および記述できる。 基本動作のメカニズム、運動学習および運動学習理論、練習技法について列挙および説明できる。				
回数	授業内容				
1	寝返り動作・起き上がり動作のメカニズム①				
2	寝返り動作・起き上がり動作のメカニズム②				
3	正常歩行の基礎概念・歩行周期				
4	歩行時の下肢関節の運動				
5	歩行時の床反力ベクトル・筋活動①				
6	歩行時の床反力ベクトル・筋活動②				
7	歩行まとめ①				
8	歩行まとめ②				
9	立ち上がり動作の相分けと特性				
10	立ち上がり動作の応用・着座動作				
11	階段昇降時の関節運動				
12	階段昇降時の運動力学				
13	運動技能(スキル)、Fittsの法則、 運動学習、動機付け(モチベーション)				
14	運動学習理論、KR・フィードバック、 学習曲線、練習技法				
15	運動学Ⅱまとめ				
指定教科書			参考図書		
日常生活活動の分析 身体運動学的アプローチ 身体運動学 関節の制御機構と筋機能			動作分析 臨床活用講座 バイオメカニクスに基づく臨床推論の実践 筋骨格系のキネシオロジー 臨床実践 動きのとらえかた 何をみるのか その思考と試行		
評定方法			準備物・注意事項		
定期試験 100%			実技の身だしなみは【講義に関する注意事項】に準じる 実技教室はクリップボードを使用すること		

関西医科専門学校 理学療法学科 2025年度 前期 講義要領

科目名	科目区分	対象学年	講義形式	授業時数	単位数
医学概論	専門基礎科目	Ⅱ部2年(通年)	講義	60	2
担当教員	実務経験				
大谷 佐知					
講義概要					
現在の医療現場では、チーム医療が必要不可欠であり、コメディカルである理学療法士には幅広い医学的知識が要求される。この講義では理学療法士に必要なメディカルコモンセンスを解説する。					
講義目標					
【一般目標】	医学の歴史を学ぶと同時に医学の進歩を理解する 医療倫理と医療制度の概要を理解する 現代医学の諸問題を理解する 医療の現場についてその概要を理解する 予防医療と医療関連法規を理解する				
【行動目標】	診断・治療方法、医療器具・機器、医薬品等の進歩がもたらした概要を説明できる 医療制度の問題点、医療倫理や医療の問題点の概要を説明できる 医療の現場における個々の医療職の役割について説明できる 医療行政と関連法規について概要を説明できる				
回数	授業内容				
1	講義概要、医学の基本				
2	医学の歴史 (1)				
3	医学の歴史 (2)				
4	医学の歴史 (3)				
5	医療倫理と医療制度 (1)				
6	医療倫理と医療制度 (2)				
7	現代医学の諸問題 (1)				
8	現代医学の諸問題 (2)				
9	医療と社会				
10	医療関係職種				
11	医療の現場				
12	公衆衛生・疫学				
13	予防医療				
14	医療法規と医療行政				
15	前期講義の総括				
指定教科書			参考図書		
なし			医学とはどのような学問か(春秋社)杉岡著 50の事物で知る医学の歴史(原書房)ギル・ポール著 医学概論(南江堂)中島著		
評定方法			準備物・注意事項		
定期試験:前期50%+後期50%=100%【レポート課題を含む】			シラバスに従い、講義前にWeb等で予習を行うこと 受講後は学習内容を十分に復習すること 講義中に行う質問には解答できるようにしておくこと		

関西医科専門学校 理学療法学科 2025年度 前期 講義要領

科目名	科目区分	対象学年	講義形式	授業時数	単位数
臨床医学	専門基礎科目	Ⅱ部2年(通年)	講義	30	1
担当教員	実務経験				
飯 春菜	回復期リハビリテーション病院において中枢疾患系・内部障害理学療法中心に5年間従事。				
講義概要					
「老年医学」「予防医学」「栄養学」を理解し、臨床現場で活用できる知識を身に付ける。					
講義目標					
【一般目標】	五大栄養素の役割を理解する。 NSTの一員として働くために、リハビリテーション栄養の基礎知識について理解する。 高齢者の身体的特徴や疾患、それに対する予防策を複合的に理解する。				
【行動目標】	五大栄養素の役割を選択できる。 リハビリテーション栄養の評価・介入方法について選択できる。 高齢者の身体的特徴や疾患、それに対する予防策を選択できる。				
回数	授業内容				
1	栄養学：糖質の役割				
2	栄養学：脂質・タンパク質の役割				
3	栄養学：筋肉と栄養、ビタミン栄養障害				
4	栄養学：栄養障害の評価・栄養療法・NST				
5	老年医学：サルコペニア・フレイル				
6	老年医学：老年症候群・予防医学				
7	まとめ				
指定教科書			参考図書		
なし			標準理学療法学・作業療法学専門基礎分野 老年学 リハベーシック 生化学・栄養学		
評定方法			準備物・注意事項		
成績：定期試験100%			生理学Ⅰ(老年医学)・病理学(栄養学)の資料 A4サイズのノート+赤・青・緑のボールペン ※板書中心のため、ルーズリーフよりノートの方が良い		

関西医科専門学校 理学療法学科 2025年度 前期 講義要領

科目名	科目区分	対象学年	講義形式	授業時数	単位数
小児科学	専門基礎科目	Ⅱ部2年(通年)	講義	30	1
担当教員	実務経験				
大野 京介	急性期病院において整形・中枢神経系理学療法中心に6年間従事。				
講義概要					
小児期障害に対する理学療法により正常発達を引き出し、異常発達を可能な限り抑制する。そのための、知識・方法を学ぶ。					
講義目標					
【一般目標】	小児に対する理学療法と成人後の障害に対する理学療法との相違点を知る 小児期障害の発生機序を知る 小児の発達は運動だけでなく視覚、聴覚、社会性など全体的にみることが必要であることを理解する				
【行動目標】	小児に対する理学療法の考え方を記述できる 小児理学療法で対象となる疾患を列挙できる 小児期障害のそれぞれの定義や理学療法の方法を記述できる				
回数	授業内容				
1	新生児基礎・NICUでの理学療法				
2	新生児・未熟児疾患				
3	ダウン症				
4	筋ジストロフィー				
5	小児整形疾患 ＜二分脊椎＞				
6	小児整形疾患 ＜側弯症・発育性股関節形成不全＞				
7	小児整形疾患 ＜骨端症・大腿骨頭すべり症・骨形成不全＞				
8	講義内試験				
指定教科書			参考図書		
イラストでわかる小児理学療法			イラストでわかる小児理学療法演習		
評定方法			準備物・注意事項		
講義内試験 100%			配布冊子を忘れずに持参すること		

関西医科専門学校 理学療法学科 2025年度 前期 講義要領

科目名	科目区分	対象学年	講義形式	授業時数	単位数
精神医学	専門基礎科目	Ⅱ部2年	講義	30	1
担当教員	実務経験				
小財 知幾	回復期リハビリテーション病院において中枢神経系理学療法中心に5年間従事。				
講義概要					
理学療法士が理解しておくべき精神疾患の疫学、症状、治療を学習する。					
講義目標					
【一般目標】	精神疾患の疫学、症状、治療を理解できる 精神科リハビリテーションの内容を把握する 国家試験問題の出題傾向を知る				
【行動目標】	精神疾患の疫学、症状、治療を選択できる 精神科リハビリテーションの内容を選択できる 国家試験の問題が解けるようになる				
回数	授業内容				
1	精神医学総論				
2	気分障害（1）				
3	気分障害（2）				
4	統合失調症（1）				
5	統合失調症（2）				
6	神経症性障害（1）				
7	神経症性障害（2）				
8	生理・身体的要因に関する障害				
9	講義内試験／認知症				
10	認知症				
11	てんかん				
12	物質依存症／アルコール依存症				
13	発達障害および小児・児童の精神疾患				
14	大人のパーソナリティ障害				
15	精神科リハビリテーション				
指定教科書			参考図書		
最新図解 やさしくわかる精神医学			精神疾患 ビジュアルブック PT・OTビジュアルテキスト 精神医学		
評定方法			準備物・注意事項		
成績：講義内試験 50% + 定期試験 50% = 100%			配布冊子を忘れずに持参すること		

関西医科専門学校 理学療法学科 2025年度 前期 講義要領

科目名	科目区分	対象学年	講義形式	授業時数	単位数
整形外科学	専門基礎科目	Ⅱ部2年(通年)	講義	60	2
担当教員	実務経験				
高橋 眞太郎	回復期・生活期の運動器・中枢神経疾患の理学療法業務を中心に5年間従事				
講義概要					
運動器疾患の病理、病態を、正常な身体構造・心身機能と比較して学習する。 各疾患の疫学、原因、病態、症状(合併症)、検査法、治療、予後について学習する。					
講義目標					
【一般目標】	運動器疾患の病態や症状を解剖学的(画像所見を含む)、生理学的、病理学的に理解できる。 運動器疾患の疫学、原因、病態、症状(合併症)、検査法、治療、予後が理解できる。 主要な運動器疾患をもつ患者へ理学療法をおこなう際のリスク管理が想起できる。				
【行動目標】	整形外科における診断・治療・疾患の概略や、運動器の画像読影に対して記述および選択できる。 運動器疾患の疫学・病態・症状を解剖学的、生理学的、病理学的に説明および記述できる。 身体症状や整形外科の所見から運動器疾患を選択できる。 運動器疾患の疫学、原因、病態、症状(合併症)、検査法、治療、予後を選択および記述できる。				
回数	授業内容				
1	オリエンテーション、整形外科の基礎① ＜診断(現症の取り方、検査)＞				
2	整形外科の基礎② ＜整形外科治療総論＞				
3	外傷総論① ＜外傷とは、捻挫・脱臼、骨折治療等＞				
4	外傷総論② ＜骨折の症状・治療、小児骨折の特徴等＞				
5	肩関節疾患各論① ＜鎖骨・肩甲骨・上腕骨の骨折、脱臼＞				
6	肩関節疾患各論②＜肩軟部組織損傷＞ 肘・手・手指関節疾患各論①＜肘の外傷等＞				
7	肘・手・手指関節疾患各論② ＜脱臼、前腕部骨折、槌指等＞				
8	股関節疾患各論① ＜大腿骨近端骨折等＞				
9	股関節疾患各論② ＜変形性股関節症等＞				
10	股関節疾患各論③ ＜大腿骨頭すべり症、大腿骨頭壊死症等＞				
11	膝関節疾患各論① ＜各部の骨折・軟部組織損傷等＞				
12	膝関節疾患各論② ＜変形性膝関節症、TKA等＞				
13	足関節疾患各論① ＜骨折、脱臼＞				
14	足関節疾患各論② ＜靭帯損傷、筋腱断裂等＞				
15	四肢の画像所見の読影 まとめ				
指定教科書			参考図書		
標準整形外科学			病気が見えるvol.11 運動器・整形外科 運動療法に役立つ 単純エックス線像の読み方 OS NEUSシリーズ No.1～15		
評定方法			準備物・注意事項		
定期試験:前期50%+後期50%			講義ノート(講義時に配布予定)、3色(赤・青・緑)ボールペン、 3色(赤・青・緑)蛍光ペン、指定教科書を持参すること 授業中は必ずメモをとること		

関西医科専門学校 理学療法学科 2025年度 前期 講義要領

科目名	科目区分	対象学年	講義形式	授業時数	単位数
神経内科学	専門基礎科目	Ⅱ部2年(通年)	講義	60	2
担当教員	実務経験				
柳本 展孝	一般・療養病棟にて、大腿骨頸部骨折、脳卒中、透析患者などの治療に5年間従事				
講義概要					
神経疾患の病理、病態を理解する。各疾患の原因、症状、治療、予後について学習する。					
講義目標					
【一般目標】	神経疾患の症状を生理学的・病理学的に理解する。 神経疾患の原因、病態、予後、症状、治療を学習する。 神経疾患に対する理学療法におけるリスクを理解する。				
【行動目標】	神経疾患の症状を生理学的・病理学的に説明できる。 神経疾患の原因、病態、予後、症状、治療を記述および選択できる。 神経疾患の病態と症状を関連づけて説明できる。				
回数	授業内容				
1	神経疾患総論				
2	脳血管障害：総論				
3	脳血管障害：脳梗塞①				
4	脳血管障害：脳梗塞②				
5	脳血管障害：脳出血①				
6	脳血管障害：脳出血②				
7	脳血管障害：くも膜下出血①				
8	脳血管障害：くも膜下出血②				
9	高次脳機能障害①（機能局在、意識障害）				
10	高次脳機能障害②（注意、記憶、遂行機能障害）				
11	高次脳機能障害③（失語、失認、失行）				
12	頭部外傷				
13	脳腫瘍				
14	脳神経障害				
15	まとめ				
指定教科書			参考図書		
病気がみえる⑦脳・神経			メディカルスタッフ専門基礎シリーズ 脳神経内科学 新 病態生理できた内科学7 神経疾患		
評定方法			準備物・注意事項		
定期試験：前期50%＋後期50%=通年100%			指定教科書と配布資料を忘れずに持参すること		

関西医科専門学校 理学療法学科 2025年度 前期 講義要領

科目名	科目区分	対象学年	講義形式	授業時数	単位数
内科学	専門基礎科目	Ⅱ部2年(通年)	講義	60	2
担当教員	実務経験				
飯 春菜	回復期リハビリテーション病院において中枢疾患系・内部障害理学療法中心に5年間従事。				
講義概要					
内科疾患の病理、病態生理を理解した上で、それぞれの疾患の症状、診断、治療について学習する。					
講義目標					
【一般目標】	各臓器の生理学的役割を理解し、各疾患に対するイメージをもつ。 主要な検査データを理解する。 主要な内科疾患をもつ患者へ理学療法をおこなう際、リスク管理ができる。				
【行動目標】	生理学、病理学、内科学の知識を関係付けて各疾患の病態や治療法を選択できる。 主要な内科疾患の検査法・検査データを選択できる。 主要な内科疾患の疫学、原因、病態生理、症状、治療法、予後を選択できる。				
回数	授業内容				
1	呼吸器疾患1 : 閉塞性肺疾患				
2	呼吸器疾患2 : 閉塞性肺疾患				
3	呼吸器疾患3 : 拘束性肺疾患				
4	呼吸器疾患3 : 拘束性肺疾患				
5	呼吸器疾患4 : 胸膜疾患、腫瘍				
6	呼吸器疾患6 : 呼吸器感染症				
7	呼吸器疾患5 : 呼吸器感染症				
8	循環器疾患2 : 心不全				
9	循環器疾患2 : 心不全				
10	循環器疾患3 : 弁膜症				
11	循環器疾患4 : 虚血性心疾患(狭心症)				
12	循環器疾患5 : 虚血性心疾患(心筋梗塞)				
13	循環器疾患6 : 血管疾患				
14	循環器疾患6 : 血管疾患				
15	まとめ				
指定教科書			参考図書		
なるほどなっとく!内科学			新・病態生理できた内科学 1~9 病気が見える 1~10		
評定方法			準備物・注意事項		
成績 : 前期50% + 後期50% = 100%			生理学 I の資料 A4サイズのノート + 赤・青・緑のボールペン ※板書中心のため、ルーズリーフよりノートの方が良い		

関西医科専門学校 理学療法学科 2025年度 前期 講義要領

科目名	科目区分	対象学年	講義形式	授業時数	単位数
保健医療福祉概論	専門基礎科目	Ⅱ部 2年	講義	30	1
担当教員	実務経験				
内原 由佳子、鎌田 幸輔、宮原 隆登					
講義概要					
保健・医療・福祉の基盤となる社会保障制度・サービスについて教授する。 病院・施設・在宅におけるリハビリテーションの役割と関連職種との関りについて教授する。					
講義目標					
【一般目標】	主要な感染症と感染症対策について理解する。 社会保障制度(所得保障・医療保障)について理解する。 病院・施設・在宅など様々な場所で提供されるサービスとその役割を理解する。				
【行動目標】	主要な感染症と感染症対策について選択できる。 社会保障制度(所得保障・医療保障)について記述または、選択できる。 病院・施設・在宅など様々な場所で提供されるサービスとその役割について記述または、選択できる。				
回数	授業内容				
1	オリエンテーション 公衆衛生とは				
2	公衆衛生：保健統計				
3	公衆衛生：感染症				
4	公衆衛生：感染症対策				
5	公衆衛生まとめ 講義内試験①				
6	社会保障制度について				
7	所得保障：年金制度・生活保護				
8	医療保障：医療保険				
9	医療保障：医療・医療サービス				
10	社会保障制度まとめ 講義内試験②				
11	社会福祉：高齢者の保健と福祉				
12	社会福祉：介護保険とサービス				
13	社会福祉：地域支援事業と在宅医療				
14	社会福祉：障害者福祉・精神保健福祉				
15	社会福祉まとめ 講義内試験③				
指定教科書			参考図書		
なし			公衆衛生がみえる		
評定方法			準備物・注意事項		
講義内試験① 30%			配布プリントを綴じるA4ファイル		
講義内試験② 30%					
講義内試験③ 40%					

関西医科専門学校 理学療法学科 2025年度 前期 講義要領

科目名	科目区分	対象学年	講義形式	授業時数	単位数
理学療法評価学Ⅰ	専門科目	Ⅱ部2年(通年)	演習	60	2
担当教員	実務経験				
辻 宏文	急性期病棟・維持期病棟・整形外科クリニックにて8年間従事。				
講義概要					
理学療法評価で用いる検査・測定 of 技術(形態測定、関節可動域測定)について学習する。					
講義目標					
【一般目標】	検査・測定の意義と目的、方法や注意事項を理解する。				
	検査・測定の技術を習得する。				
	検査・測定の評価過程、結果を理解する。				
【行動目標】	検査・測定の意義と目的、方法や注意事項について記述または、選択できる。				
	被験者に対し、各検査・測定が実施できる。また検査・測定に伴う使用物品も正しく使用できる。 検査・測定の評価結果を記録または、述べるができる。				
回数	授業内容				
1	オリエンテーション：関節の動かし方				
2	形態測定：周径（四肢・体幹）				
3	骨部位の触診（上肢）・形態測定：上肢長				
4	骨部位の触診（下肢）・形態測定：下肢長				
5	形態測定：周径・肢長				
6	形態測定：周径・肢長（実技演習）				
7	実技試験（周径・肢長）				
8	オリエンテーション：ROM測定の意義・目的				
9	骨部位の触診・ROM測定（肩関節）				
10	ROM測定（肩関節・肩甲帯）				
11	骨部位の触診・ROM測定（肘関節・前腕）				
12	ROM測定（手関節、手指）				
13	ROM測定：肩甲帯・上肢				
14	講義内試験・ROM測定（実技演習）				
15	実技試験（ROM肩関節・肩甲帯・上肢）				
指定教科書			参考図書		
PT・OTビジュアルテキスト リハビリテーション基礎評価学			理学療法士・作業療法士 国家試験必修ポイント 基礎PT学 PT・OTのための測定評価2 形態測定 感覚検査 反射検査		
評定方法			準備物・注意事項		
前期：実技試験35% 講義内試験15%=50% 後期：実技試験35% 講義内試験15%=50%			実技の身だしなみは【講義に関する注意事項】に準じること 配布プリントを綴じるA4ファイル メジャーなど講義で使用する物品（適宜、連絡する） 実技教室ではクリップボードを使用すること		

関西医科専門学校 理学療法学科 2025年度 前期 講義要領

科目名	科目区分	対象学年	講義形式	授業時数	単位数
理学療法評価学Ⅱ	専門科目	Ⅱ部2年(通年)	演習	60	2
担当教員	実務経験				
石津 孝晃	療養型病床を有する維持期病院で地域理学療法を中心に6年間従事。				
講義概要					
理学療法評価で用いる徒手筋力検査法(以下MMT)について、学習し実践する。					
講義目標					
【一般目標】	MMTの意義、目的、方法、注意点等を理解する。 MMTの実技を通して学び、技術を習得する。				
【行動目標】	MMTの意義、目的、方法、注意点等を説明できる。 理学療法評価のMMTを、正しい手順で実施できる。 各検査の主動作筋、検査結果及びその解釈を説明できる。				
回数	授業内容				
1	オリエンテーション・抵抗のかけ方・身体の動かし方				
2	MMTの意義・目的				
3	上肢MMT 肩関節①				
4	上肢MMT 肩関節②				
5	上肢MMT 肩関節③				
6	上肢MMT 肩関節④				
7	上肢MMT 肘関節・前腕①				
8	上肢MMT 肘関節・前腕②				
9	上肢MMT 肩甲帯①				
10	上肢MMT 肩甲帯②				
11	上肢MMT 肩甲帯③				
12	上肢MMT 手関節・手指①				
13	講義内試験/実技演習				
14	実技演習				
15	実技試験				
指定教科書			参考図書		
新・徒手筋力検査法			骨格筋の形と触察法 理学療法ハンドブック 理学療法技術ガイド		
評定方法			準備物・注意事項		
前期：実技試験35%＋講義内試験15%＝50% 後期：実技試験35%＋講義内試験15%＝50%			実技教室ではクリップボードを使用すること 実技の身だしなみは【講義に関する注意事項】に準じること		

関西医科専門学校 理学療法学科 2025年度 前期 講義要領

科目名	科目区分	対象学年	講義形式	授業時数	単位数
理学療法特論Ⅱ	基礎科目	Ⅱ部2年(通年)	演習	105	7
担当教員	実務経験				
弘 美佐子					
講義概要					
各種代替医療について学習する。 メディカルアロマ、スポーツアロマ、リンパ浮腫ケアを学習する。					
講義目標					
【一般目標】	症状別アロマケアを理解する。 フレグランスを理解をする。 東洋医学の特徴を理解する。				
【行動目標】	症状別アロマケアの適応と禁忌を選択できる。 各種フレグランスの特徴を選択できる。 東洋医学の特徴を選択できる。				
回数	授業内容				
1	オリエンテーション・リラクゼーション：癒し				
2	代替医療、東洋医学、経絡とは 予防医学とセルフメディケーション				
3	各種療法について 予防医学とセルフメディケーション				
4	石鹸作成				
5	オイルトリートメントの代替法				
6	オイルトリートメントとボディケアについて				
7	アロマケア：リラクゼーション				
8	アロマケア：冷え性				
9	アロマケア：足の痙攣				
10	アロマケア：顔のむくみ				
11	アロマケア：マタニティ				
12	メンタルケア 予防医学とセルフメディケーション				
13	リフレクソロジー①				
14	リフレクソロジー②				
15	総合演習/講義内試験				
指定教科書			参考図書		
Essential Oil Guide Book アロマコーディネーター講座 予防医学とセルフメディケーション編			なし		
評定方法			準備物・注意事項		
成績：前期50%+後期50%=100%			実技の身だしなみは【講義に関する注意事項】に準じる バスタオル、ハンドタオル(お風呂で体を洗うサイズのもの) 精油の取り扱いはず必ず教員の指示に従うこと 連絡先：bodymall.335@gmail.com		

関西医科専門学校 理学療法学科 2025年度 前期 講義要領

科目名	科目区分	対象学年	講義形式	授業時数	単位数
理学療法特論Ⅱ	選択科目(必修)	Ⅱ部2年(通年)	演習	105	7
担当教員	実務経験				
辻 宏文					
講義概要					
理学療法評価で用いる検査・測定の技術を学習する。					
講義目標					
	検査・測定の意義や目的、方法を考察する。				
【一般目標】	検査・測定の評価過程や注意事項などを考察する。				
	検査・測定に伴う、ポジショニングの設定や技術を考察する。				
	検査・測定の目的や方法などを述べることができる。				
【行動目標】	検査・測定が効率よく実施できる。				
	検査・測定に伴う、被検者のポジショニング設定や身体介助に配慮し実施できる。				
回数	授業内容				
1	形態測定：周径・肢長				
2	形態測定：周径・肢長				
3	形態測定：周径・肢長				
4	ROM測定（肩関節）				
5	ROM測定（肩関節・肩甲帯）				
6	ROM測定（上肢）				
7	ROM測定（上肢）				
指定教科書			参考図書		
PT・OTビジュアルテキスト リハビリテーション基礎評価学			理学療法士・作業療法士 国家試験必修ポイント 基礎PT学 PT・OTのための測定評価2 形態測定 感覚検査 反射検査		
評定方法			準備物・注意事項		
グループワークの成果物:100%			実技の身だしなみは【講義に関する注意事項】に準じること 配布プリントを綴じるA4ファイル メジャーなど講義で使用する物品（適宜、連絡する） 実技教室ではクリップボードを使用すること		

関西医科専門学校 理学療法学科 2025年度 前期 講義要領

科目名	科目区分	対象学年	講義形式	授業時数	単位数
理学療法特論Ⅱ	選択科目(必修)	Ⅱ部2年(通年)	演習	105	7
担当教員	実務経験				
石津 孝晃					
講義概要					
臨床現場で実施する理学療法評価『MMT』を実践し、臨床応用法を学ぶ					
講義目標					
【一般目標】	患者特性に応じたMMTを実施できる。 患者特性に応じたMMTのリスク管理ができる。				
【行動目標】	疾患を考慮した上で検査項目の順序を立案し、実施できる。 疾患を考慮した上で検査を実施する上でのリスク管理が説明できる。				
回数	授業内容				
1	MMT実技演習				
2	MMT実技演習				
3	MMT実技演習				
4	MMT実技演習				
5	MMT実技演習				
6	MMT実技演習				
7	MMT実技演習				
8	MMT実技演習				
指定教科書			参考図書		
なし			新・徒手筋力検査法		
評定方法			準備物・注意事項		
グループワークの成果物:100%			実技教室ではクリップボードを使用すること 実技の身だしなみは【講義に関する注意事項】に準じること		